

第 49 期(2020 年度)

事業報告

自 2020 年 4 月 1 日

至 2021 年 3 月 31 日

公益財団法人 資生堂社会福祉事業財団

I. 事業概要

全国の児童相談所における児童虐待相談対応件数は増加の一途を辿り、子どもたちが直面する現実の厳しさを増しています。当財団では児童養護施設をはじめとする児童福祉に携わる実務者をサポートすることで子どもの成長を後押しするための活動や、社会的養護下におかれた子どもたちのスムーズな自立を応援する活動、児童養護施設や里親の元で暮らす児童の進学を支援する活動、児童福祉に関する情報誌の出版を通じた社会に向けた啓発活動等を実施しています。

II. 活動一覧

当財団は、研修、助成、啓発の3つを事業領域としています。2020年度は以下の内容で実施しました。

(1) 研修事業

① 児童福祉分野で働く職員に向けた研修

資生堂児童福祉海外研修は1972年の開始以来、児童福祉業界の中核人材を約700名輩出しており、児童福祉領域におけるリーダーの育成や業界全体としての専門知識の底上げに寄与しています。2020年度は当初計画のフランス研修を、新型コロナウイルス感染症の世界的感染拡大により中止としました。東アジア児童福祉職員交流研修は、新型コロナウイルス感染症の影響により渡韓が難しい状況からオンライン開催に変更し、開催しました。

資生堂児童福祉海外研修	新型コロナウイルスの感染症拡大の影響により中止
東アジア児童福祉職員交流研修	実施日 2021年2月 場 所 LINEWORKS を使用したリモート会議 テーマ 「コロナ禍における子どもと家庭の状況と支援」

② 児童または青少年に向けた研修

児童養護施設や里親のもとで暮らす子どもたちが、自立してからも地域社会で安心・安定した生活をおくるための生活スキル習得や、コミュニケーション力を高める研修を行っています。児童からの参加希望が年々増加していることから優先順位の高い活動と位置づけ、協賛企業と協働しながら活動を進めました。2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、各セミナーが計画変更となりました。身だしなみ講座は当初計画では5会場で開催予定でしたが、1会場での開催となりました。スターターズセミナーは、埼玉・群馬会場は中止、全国3会場でのオンライン開催に変更となりました。社会への巣立ちフェスティバルは、一堂に会するリアル開催は中止とし、千葉県と神奈川県でオンライン開催に変更して実施しました。

身だしなみ講座	実施日 2020年9月 場 所 全国1会場(大阪) 形 態 TEAMS を使用したリモート開催 内 容 社会人として相応しいスキンケア・メーキャップ、ボディケアに関する講座を開催し、90名が参加
---------	--

スターターズセミナー	実施日 2020年11月～2020年12月 場 所 全国3会場2回開催 形 態 TEAMSを使用したリモート開催 内 容 自立生活に必要なコミュニケーションやビジネスマナー、「身だしなみ講座」等のセミナーを開催し、のべ110名が参加
社会への巣立ちフェスティバル	実施日 2021年3月 場 所 全国2会場(神奈川・千葉) 形 態 ZOOMを使用したリモート開催 内 容 社会へ巣立ちの後押しと円滑な自立の支援のため「身だしなみ講座」等のセミナーを開催し、のべ88名が参加

(2) 助成事業

① 個人・団体に対する助成

社会的養護に置かれている子どもたちを支援する団体の中から、当財団の目指す方向性が一致する団体の活動へ助成を行っています。なかでも、当財団の資生堂児童福祉海外研修のOB会から結成された「NPO STARS」は、現場や子どものことを最も熟知した人材が多数所属する集団で、STARSとの連携は当財団にとっても重要であることから2020年度も継続して助成しました。

子どものしごとフェスティバル in 東京	主 催 特定非営利活動法人 NPO STARS 開催日 2020年12月13日 形 態 オンライン開催 テーマ 「挑戦☆子育てで家庭を孤立させない～施設の多機能化を考える～」
家庭養育機能支援 子育てワークショップ研修会	新型コロナウイルスの感染症拡大の影響により中止
全国児童家庭支援センター協議会 実務者研修	新型コロナウイルスの感染症拡大の影響により中止
児童虐待防止に向けた セミナー・イベント	児童家庭支援センターが主催する「子育てセミナー」1カ所、「オレンジリボンキャンペーン」5カ所、地域の様々な機関と連携した子育て支援イベント3カ所への助成

② 児童または青少年に向けた助成

児童福祉施設や里親の元から自立し、社会福祉士や保育士など児童福祉分野での活躍を希望して大学・短期大学・専門学校に進学している学生14名に対し、入学金や授業料の一部として年間50万円(上限)を返済不要で支援しました。

資生堂児童福祉奨学金	大学・短期大学・専門学校に進学している学生14名に給付
------------	-----------------------------

(3) 啓発事業

○情報誌「世界の児童と母性」の発行

児童福祉に関する研究発表の場の提供や、児童福祉の現場の課題解決に繋げるための情報提供を目的とする情報誌「世界の児童と母性」を発行しています。1975年の創刊以来、児童福祉分野の有識者や経験豊富な実務者に参画いただき、施設で働く方々への有益な情報を提供してきました。2020年度も、変わりつつある児童福祉を取り巻く環境を見極め、より時代に合った内容や構成を目指して下記の内容で発行しました。

「世界の児童と母性」87号	「世界の児童と母性」88号
発行時期：2020年4月 発行部数：2800部 テーマ：「関係形成が困難な親とその子どもの支援」	発行時期：2020年10月 発行部数：2800部 テーマ：「子どもの権利とアドボカシー」

Ⅲ. 活動詳細

1. 研修事業

●資生堂児童福祉海外研修

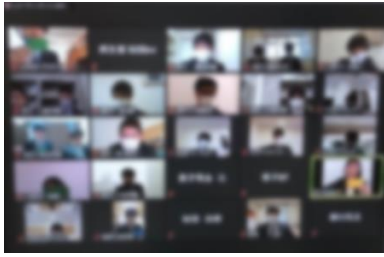
過去研修のまとめとして、新コンテンツ「海外研修ダイジェスト」を財団 HP に追加しました。同時に、当研修の知見をより多くの方々に共有するため、財団 HP の海外研修事業ページにも全報告書の PDF を掲載しました。



海外研修ダイジェスト HP 画面

●社会への巣立ちフェスティバル

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、Zoom を使用したオンライン開催に変更しました。千葉県と神奈川県の子育て施設や里親のもとで暮らす高校3年生のべ88名を対象に開催しました。(株)AOKI、資生堂ジャパン(株)の協力により、スーツの着こなし方、身だしなみなどを学びました。東京都の児童は、都の社会福祉協議会からの要請により不参加となったことから、財団からのお祝いメッセージや化粧品、そらまめガイドなどを同封したプレゼントを計206名の児童に送付しました。



Zoom 講座画面



講師の様子



講師の様子

2. 助成事業

●資生堂児童福祉奨学金

将来、社会福祉士や保育士など、児童福祉分野での活躍を希望して大学・短期大学・専門学校に進学している、社会的養護出身の学生 14 名に授業料等の一部として、年間 50 万円(上限)を返済不要で支援しました。また 2021 年 2 月に、より多くの社会的養護下の児童が自分の将来に夢と希望を持ち、自らの意思で進路を選択し夢の実現に挑戦することを応援することを目的として、奨学金制度変更を実施しました。

- (1) 対象となる進路を児童福祉分野に限定せず、全ての学部・学科に拡大
- (2) 対象となる児童の範囲を全ての社会的養護下の児童に拡大

3. 啓発事業

●情報誌「世界の児童と母性」の発行

当初計画にありませんでしたが、将来的なデジタル化の加速を考慮し、より多くの方々に届けられるよう、創刊号から直近発行の号の全てをバックナンバーとしてホームページで閲覧できるようにしました。



情報誌「世界の児童と母性」

以上